



2019年11月1日

各位

会社名 テクノクオーツ株式会社
 代表者 取締役社長 園田 育伸
 (JASDAQ コード番号 5217)
 問い合わせ先 常務取締役 岸 慎二
 管理本部長
 (TEL03-5354-8171)
 当社の親会社 ジーエルサイエンス株式会社
 代表者 取締役社長 長見 善博
 (東証第2部 コード番号 7705)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月13日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	4,185	471	465	324	419円93銭
今回修正予想(B)	4,480	734	774	553	715円95銭
増減額(B-A)	295	263	308	228	
増減率(%)	7.1	55.8	66.3	70.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	4,520	780	821	563	728円33銭

2. 2020年3月期通期(累計)連結業績予想数値の修正

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	8,400	942	926	645	834円33銭
今回修正予想(B)	8,695	1,205	1,235	874	1,130円37銭
増減額(B-A)	295	263	308	228	
増減率(%)	3.5	27.9	33.3	35.5	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	9,121	1,648	1,704	1,161	1,501円34銭

3. 修正の理由

当社グループは半導体製造プロセスでの消耗品を製造・販売しております。

第2四半期累計期間の売上高は、当初計画していた予想数値の水準となる見込みですが、営業利益は量産効果等による利益率の向上や原価低減が貢献し、当初予想を上回る見込みです。また、それに伴い、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も当初予想をそれぞれ上回る見込みです。一方、第3四半期以降については、現時点において今後の業績動向を精査しているため、現時点では予想数値を据え置いております。その結果、通期の業績予想については、第2四半期連結累計期間と同額を修正することといたします。

(注)上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上